積水化成品工業株式会社は２０１９年２月１９日（火)、「ＮＰＯ法人こが里山を守る会」が主催する植樹会に参加した。この植樹会は、「積水化成品基金※」事業のひとつとして、また公益法人国土緑化推進機構が支援する「緑の募金」公募事業として、古河市稲宮の森にて継続的に開催している。

今年は、林野庁・茨城県からの依頼を受け、「天皇陛下御在位三十年記念植樹」として、上大野小学校の生徒参加による植樹会となり、１００本を植樹し、記念植樹の標識も設置された。

「ＮＰＯ法人こが里山を守る会」は、稲宮地区の産業廃棄物の不法投棄によって自然環境や景観を損ねている放置林を、市民が関心を持ってふれあえる、花咲く里山「さくらの山」へと変えるために活動をしているＮＰＯ法人。地元の小中学校と連携し、ソメイヨシノや山桜・八重桜を、通算で５００本植樹している。

※「積水化成品基金」

当社グループは、ＣＳＲ宣言「人と環境を大切に　夢をふくらませる積水化成品グループ」の趣旨に沿って、市民団体による継続的な環境保全への助成を通じて、市民による環境保全活動の充実をはかっている。関東地区においては、「認定ＮＰＯ法人茨城ＮＰＯセンター・コモンズ」（茨城県水戸市）が運営する「いばらき未来基金」への寄付により、２０１６年に「積水化成品基金」が開設された。